

元気いっぱい !!



日本赤十字社医療センター附属乳児院
Home for Infants, Japanese Red Cross Medical Center



〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号

TEL 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/nyuji-in/index.html>

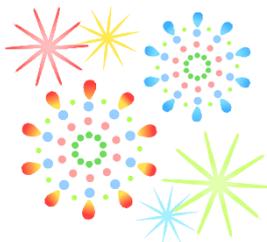
理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。

私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、家庭復帰を支援します。

花火の夕べ

保育士 福澤



台風や秋雨が続き、延期となっていた花火を9月14日に行いました。今の幼児部は月齢の低い子が多いので、噴き出し花火やナイアガラ風の花火に目を見張り、口を開けて初めての体験に驚いていました。こあら室の子どもたちも噴き出し花火を2階の窓から見学しました。じーっと見ている様子が伝わり、嬉しく思いました。

月齢の高いお姉さんやお兄さんは、手持ち花火を次から次へと楽しみました。

花火の種類にも好みがあり、「これがいい!」と選ぶ余裕もありました。子どもたちの体調が心配されましたが、全員が参加できてよかったです。秋の夜風を感じながら、楽しい経験となりました。

お寺の縁日へ

看護師 長谷川



9月8日に、近くの東北寺の縁日にお邪魔させていただきました。お寺近くにはお神輿と大きな太鼓が置いてあり、みんなで写真撮影! 年長の子たちは実際に太鼓を叩き、とても満足した表情を撮ることができました。お寺の境内では、かき氷に焼きそば、金魚すくいに綿あめと縁日の雰囲気漂う中、自治会の

方々にとても歓迎していただきました。金魚すくいは、オモチャの金魚と本物の金魚が泳いでいて、怖がる子もいましたが、必死に金魚と戦っている子どもたちがとても愛らしかったです。焼きそばをお腹いっぱい食べ、地元の方々に大きく手を振って帰ってきました。夏の素敵な思い出になりました。





子どもの事故防止

看護師 飯島

子どもは体の中で頭の割合が大きく、バランス感覚が不十分であるため、転倒・転落事故を起こします。様々な物に興味を示すようになりますが、危険を予測して行動ができません。屋外の事故も多いですが、大部分は家の中で、思いがけないような起こり方をします。事故の予防として、家庭内の整理整頓をし、危険を避ける事が大切です。しかし、事故を防止しようとするあまり、子どもの行動を制限し過ぎると、子どもが危険を予測したり判断する機会を奪ってしまいます。日常生活の中で、子どもの発達や能力に合わせて教育していくことが大切です。

頭を打ってしまった時、以下の症状がある時は、119番通報で救急車を呼びましょう。

①意識がない ②呼吸が弱く顔色が悪い ③出血多量 ④嘔吐した ⑤けいれん ⑥手足を動かさない これらは危険な症状ですので、病院に急行してください。



はじめまして！(新入職員の紹介)



8月より幼児部の仲間入りをしました、保育士の五十嵐千恵です。(写真左) これまでは、障害のあるおとなの方やお子さんの生活に携わってまいりました。乳児院での勤務は初めての経験のため、ドキドキワクワクしています。お子さんが乳児院でゆったり甘え、楽しく笑う時間を少しでも多く作れるよう、保育にあたりたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

乳児部で勤務している保育士の花村郁里と申します。(写真右) 前職では障害者入所施設で働きながら、在学中に専攻していた音楽療法をやらせていただきました。音楽を通して、子どもたちの生活の幅がひろがるよう、乳児院でも今までの経験を活かせたらと考えています。趣味はスカイダイビングです。力不足ではありますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



ボランティアさんの紹介コーナー

今回は、「面会ボランティアさん」を紹介します。大学生からベテランの方まで、現在10名の方が活動されています。ご家族の同意の上で、お散歩や乳児院内での遊び、授乳や食事介助をお願いしています。ボランティアさんの面会は子どもにとって、自分の欲求や甘えをゆったりと受けとめてもらい、たっぷりのスキンシップで心地よさに包まれる貴重なひと時です。面会を続けてくださるボランティアさんに感謝しつつ、私たち職員はボランティアさんと一緒にお子さんの成長を喜び合える面会日を楽しみにしています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

今年も乳児院の畑では、さつまいもが豊作でした！みんなで収穫したお芋は、蒸しパンやお料理に入れて、美味しくいただきます。

